

ふくしま県人会だより

第22号
平成22年8月
福島県人会
北海道連合会

会長あいさつ

会長 熊坂成剛



今年の総会も無事終わり、この原稿が皆様の手元に届くころは、本州でいえば梅雨(つゆ)も終わって本格的な夏に入っている頃でしょう。

先日ANAの機内誌を読む機会があり、この梅雨の事が書いてありました。梅雨の語源には、中国から徴(かび)の生えやすい時期の雨(徴雨(ばいう))と言う言葉が伝わったとき、その語感を和らげるため、同

じ発音の「梅」が使われたとの説があると言ったことが巻頭文に書いてありました。

梅雨がないと言われる北海道もこの季節になると雨が多くなりませず。鬱陶しい雨は今までは嫌でした。でも、昨年から県人会仲間誘われて畠作りをするようになり、二つの事を考えさせられています。

その一つが雨です。農業の真似事をやってみて、雨の大切さをしみじみと感じます。雨不足で家からポトルに詰めて水を運んだり、一〇〇リットル近く入るタンクで運んだりしました。

もう一つは、額に汗して草をむしり、支えをつけ肥料を与えると、確実に植物は大きくなつて、その稔を私たちに返してくれることです。畠は嘘をつかないものだと思いました。人間が死んで帰る所、それは大地であり、土に還ると言われ、清も濁も併せて包み込む所なのだと思います。その大地の上に私たちは汗の滴を落とすのだと思いました。

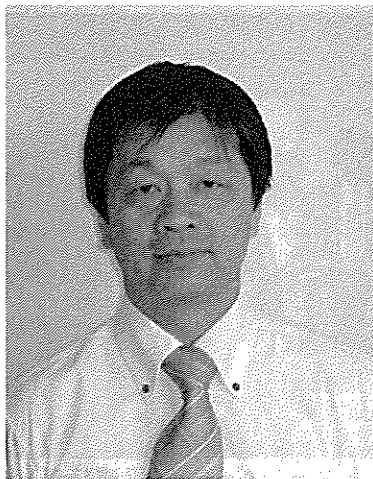
私たちの先祖が様々な思いを胸に抱いてこの北の果てのゼロの大地に

立つて、ひと鍬ひと鍬を大地に打ち下ろしながら、その鍬の先から、故郷を離れたその思いを大地にすき込み植え込んで行ったのではないのでしょうか。秋になり豊かな作物となつて返してくれたのか、人の生き様の有り様を開墾に入った人々の胸に返してくれたのだろうか、そんな思いを私は感じています。

昨年末で県人会連合会の会長でした長谷川さんが逝去されました。まさに大地に還りました。県人会の発展を願い、その語り、風貌、人柄をもつて私たちの胸の中に鍬を下ろし、たくさんの種をまいてくれました。私たちは長谷川前会長の思いを大きな花として咲かせ、お返ししたいものです。御冥福をお祈りします。

新任所長あいさつ

太田崇弘



県人会の皆様には、日頃から福島県へ格別の御支援・御協力を賜り、冒頭、厚く御礼申し上げます。

私、この四月から、北海道事務所勤務となりました太田と申します。どうぞよろしくお願ひします。着任以降、函館県人会、千歳県人会、美幌町県人会にお邪魔し会員の皆様には暖かく迎えていただきました。また、札幌県人会の皆様には、着任早々懇談会にお招きいただき、本当にありがたいことだと考えています。今後も、各県人会の皆様とお会いしお話を伺いたいと存じますので、前齋藤所長同様にお付き合ひいただけるようお願い申し上げます。

さて、実際こちらで暮らしてみますと、これまで旅行などで感じたものとは違った面が見えてきます。また、少し距離を置いて福島について考えるいい機会にもなるのかなと感じています。以下、私の北海道の印象の一部です。

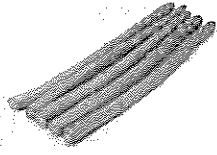
○意外に暖かい
おそらく六月頃までは寒いと考え、綿入れ絆纏を持参しました。これまでそんなものを着ている方は見かけたこ

とがありません。まだ冬を経験してないので何ともいえませんが、少なくとも建物の中は快適なようで、こたつで震えながらミカンを食べるというものではなさそうですね。

○街がきれい
区画が整然としていて、ごちやごちやした感じがありません。加えて、路上にゴミが少ないように思います。私が住んでいた福島市では、ポイ捨てされたゴミが散乱していて、「おもてなしの心」を標榜する県としては如何なものかと改めて残念に思います。

○電車のマナーなど
どんなに混んでいても地下鉄の専用席が空いているのは驚きました。これも本県では余り見られない光景です。駐車場の障がい者用スペースもきちんと空けられています。こうしたマナーがしっかりしているのは、素晴らしいことだと思います。

○食べ物がおいしい
ジャガイモ、とうもろこし、アスパラなどの農産物や魚介類が本当においしい。ホッケはおいしさもち



ろん、その大きなことに驚きました。

一方、この季節になると福島の桃が恋しくなります（あちらでは、一箱千円の理由あり桃やナシをたらふく食べていました）。

終わりに、当北海道事務所は総員四名の小さな所帯です。所員一同懸命に職務に取り組みでまいりますが、少人数でもあり、何かと皆様のお力添えをお願いすることもあろうかと存じます。皆様には、ふるさと福島県や北海道の発展のため、今後とも一層の御支援と御協力を賜りますようお願いいたします。

最後になりますが、前連合会長の長谷川頭様が七月七日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

会員通信

入会当時を偲んで

旭川県人会 一条俊子

早いもので、もう三十年近くにもなります。昭和五十五年旭川福島県人会に入会し、初めて連合会の



ミスピーチによるももキャンペーン（平成15年）

総会に出席させていただきました。大勢の会員の皆様が出席され、私も大いに楽しんだ事が想い出されま

す。

総会には、当時福島県知事の松平勇雄様も出席され、握手などさせて戴き嬉しかった事、今でも懐かしく思い出として残っております。その後、福島県知事は佐藤栄佐久知事、佐藤雄平知事に引き継がれる事になりました。また、北海道連合会会長の森口松太郎さんにも各々お会いする事が出来た事は、私にとつて大変光栄な事であったと思っております。

旭川福島県人会の会長になられ

た方は、昭和四十八年頃は水口栄会長、その後、木幡祇郎会長、梅津一四郎会長、小野一郎会長と引き継がれ、現在は金子民男会長が会の発展のため頑張っておられます。会員数は当時百八十名程で自衛隊の会員様も一緒に参加され、会を盛り上げていただきました。

記憶に残る思い出としては、平成十五年、福島県より「ミスピーチキャンペーンクルー」が来旭された事でした。クルーの皆さんから素晴らしい若さを戴き、嬉しく楽しい出逢いがあった事です（アンチエイジング！）。今でも福島の桃（ピーチ）を食べて、少しでも若さを保って行こうと頑張っております（？）。

私の故郷は現在の旭川市東旭川



今年のももPR一行との懇談会

記念坂で、私は「三世」に当たります。ペーパン開拓百周年記念祭典も平成十八年に盛大に終わりましたが、この間社会情勢も大きく変わり、今や少子高齢化の時代になりました。国内外でも考えられない事が次々に起き、大変な世の中になつてまいりました。「大地震」「大噴火」そして人を人とも思わない「いじめ」「虐待」「殺人」などなど、毎日毎日暗いニュースが多いですよ！

私達はまだ幸せの方かもしれません。これからも会のために、微力ですがお手伝いをして行きたいと考えております。また、「旭川福島県人会」「ペーパン福島県人会」「ペーパン福島県人会」と各々交流を深めていきたいと思っておりますので、皆様方の御指導、御支援宜しくお願い致します。

最後に、全道の福島県人会の皆様と、元気で出会い出来る日を楽しみにしております。

百歳の
生活を見つめる
この杜は
わがふる里の
記念坂なり

雄山書



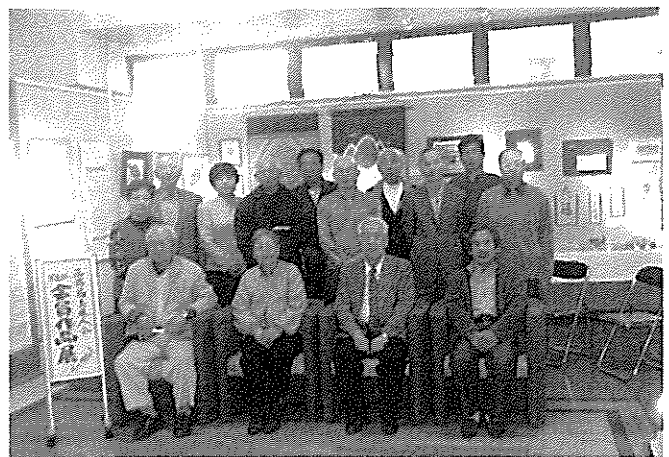
第一回「会員作品展」を開催

函館県人会 古山勝利

各会員と家族の趣味の作品を一堂に集めての第一回「会員作品展」を、去る四月二十一日から二十八日までの間、函館新聞社ギャラリーで開催しました。

作品展には、十二名から版画、藍染、水彩画、書道、写真、郷土かるた、木工品、彫刻、カラー魚拓、手芸品など、多彩な作品約八十点の展覧がありました。

また、会場には母県の観光ポスタ



函館県人会の皆さん

ーを掲示して、県のPRに努めるとともに、新会員の募集も呼びかけました。

第一回目のものであり、どれだけの方が来てくれるか気がかりでしたが、各会員からの呼びかけや地元新聞での開催案内により、期間中二百名の来場者があり、まずは予想以上と喜んでおります。

確かな手応えを得ましたので、今回の反省等を生かしつつ今後定期的に開催したいと会員は張り切っております。

県の北海道事務所にも、広告物の手配など大変お世話になりました。厚く感謝申し上げます。

連合会の活動

第三十八回連合会総会

第三十八回連合会総会は、五月二十二日に千歳市「ANAクラウンプラザホテル千歳」を会場に、佐藤雄平知事御夫妻をはじめ、佐藤憲保議長御夫妻、高井修北海道副知事等を来賓としてお迎えし、総勢百六十三名が参加して盛大に開催されました。

席上、知事感謝状が草野藤夫さん(浜中町)に、連合会長感謝状が関利勝さん(千歳)はじめ九名の方



表彰された功績者の方々

に贈呈されました。

千歳県人会の木内将一会长を議長に選出し議事に入り、本年度の事業計画、収支予算などすべての議案が満場一致で承認されました。

総会終了後行われた懇親交流会では、千歳県人会によるアトラクションや各会員自慢のものが披露され、和やかな雰囲気の中、近況や思い出話に花が咲いていました。

最後に、次回開催地である函館県人会の「いか踊り」による開催PRがあり、来年の再会を誓い合いました。



懇親会でフラを披露した千歳のチームと

新会員紹介

函館県人会

佐藤 豊(さとうゆたか) 函館市
遠藤 功(えんどういさお) 会津若松市

母県の動向

人がほほえみ、地域が輝く

「ほっとする、ふくしま」に

新総合計画「いきいきふくしま創造プラン」がスタートしました。

県民が笑顔にあふれ、いきいきと活躍することで、地域が輝き、本県を訪れる人にとっても「癒され、ほっとする」ふくしまを創りたいとの思いが込められており、今の子どもたちが親となる三十年先の姿を次のように描いています。

・いきいきとして

「活力」に満ちたふくしま

産業が躍動し、様々な交流が生まれています。

・「安全と安心」に

支えられたふくしま

地域のきずなを支えられ、健康で

いきいきと過ごすことができます。

・人にも自然にも

「思いやり」あふれたふくしま

一人ひとりが大切にされ、美しい

自然環境も引き継がれています。

母県訪問のご案内

待ちに待った母県訪問を10月20日(水)～22日(金)の日程で行います。

じゃらん温泉地ランキング秘湯部門満足度1位の高湯温泉、映画「フラガール」で人気が高まった「スパリゾートハワイアンズ」、リニューアルした「いわき石炭化石館」など旬な福島を実感できます。着実に歩み続ける母県福島をこの機会にご覧ください。

<見学先> 磐梯吾妻スカイライン、二本松の菊人形、陶芸の杜おおぼり
いわき石炭化石館、アクアマリンふくしま ほか

<宿泊> 高湯温泉花月ハイランドホテル、ホテルハワイアンズ

<申込み> 各地区県人会に8月30日まで

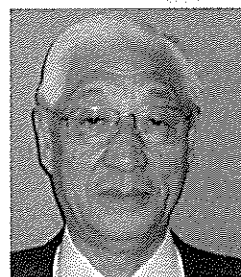
*詳細は別途ご案内しております母県訪問の通知でご確認ください。



お悔やみ

長谷川顕氏(稚内福島県人会長・前福島県人会北海道連合会長)におかれましては、病氣療養中のところ、七月七日にご逝去されました。七六歳。

長年にわたる県人会活動へのご貢献に感謝し、ご冥福をお祈りいたします。



編集後記

全国的な猛暑や大雨。北海道も蒸し暑く、曇天続き。この先の気象に大きな不安を感じさせます。

先日発表された七月の平均気温は、各地で平年を二℃前後上回っていました。

今年の六～七月の平均気温を平年値と比較してみると、今年の札幌市は、本県の白河市や相馬市の平年よりもやや高く、今年の福島市は、平年の名古屋市や岐阜市に匹敵するほどでした。

気象の変動は、生活や産業に大きく影響します。より温暖化防止を意識した暮らしをしなければと感じる夏です。